

デザイン工学部環境理工学科 教育研究自己点検シート（2024 年 3 月 20 日改正）改正案

点検・評価年度	2024 年度	提出日	2025 年 3 月 14 日
---------	---------	-----	-----------------

職位	教授	氏名	濱崎 竜英
----	----	----	-------

分野	評価項目	数・評価
教育	授業コマ数は何コマ担当しましたか。（年度末の超過担当表を参照）	16.0 コマ
	卒業研究生は何名受け持ちましたか。	5 名
	シラバスに沿った授業を行いましたか。	Yes
	No の場合、理由をお書きください。	
	学生授業アンケートの結果について所見書を提出しましたか。	Yes
	担当授業は 15 回開講しましたか。	Yes
	授業時間を守りましたか。	Yes
	学生からの質問や疑問に対し、適切に対応しましたか。	Yes
	学生の理解を深めるための工夫をしましたか。	Yes
	学生の課外活動（クラブ、プロジェクト共育など）を支援しましたか。	Yes
	地区懇談会、三者面談に何回参加しましたか。	3 回
研究	著書や学術論文を何本発表しましたか。	1 本
	内、単著数または共著の場合の第一著者数	1 本
	代表的な著書または学術論文の情報を 1 本記入してください。 ゼロから学んで一発合格！公害防止管理者試験水質関係テキスト&問題集	
	その他、書評などの発表を何回しましたか。	0 回
	口頭発表（講演を含む）は何回しましたか。	0 回
	知的財産を申請・登録を何件しましたか。	0 件
	研究代表者として科学研究費補助金等競争的資金の申請をしましたか。	No
	科学研究費補助金等競争的資金を獲得しましたか。但し、代表者に限ります。	No
	学会・研究会等学術団体の業務に携わりましたか。	No
	大阪産業大学研究費の不正使用防止に関する規程、大阪産業大学研究活動に係る不正行為防止など本学の研究に関する規程を遵守しましたか。	Yes
	本学の APRIN e ラーニングプログラムまたは研究倫理・コンプライアンス研修を受講しましたか。	Yes

	研究関係の功績で表彰されましたか。	No
社会連携	公的機関またはそれに準ずる機関の委員等をいくつ務めましたか。	3 件
	学会以外の講演活動を何回しましたか。	0 回
	いくつの NPO 等の役職等（理事、監事、事務局など）を務めましたか。	2 回
	いくつの NPO 等の活動を企画・運営しましたか。	1 回
	何件の受託研究、奨学寄附金を獲得しましたか。	1 件
	代表的な受託研究、奨学寄附金の相手の情報を可能な範囲で 1 件記入してください。 ボルタンメトリー法を用いた土壤中重金属定量のためのフィールド抽出技術の研究	
学務	どのような役職または各種委員に携わりましたか。	学部長、学科主任
	大学・学部・学科が求めたどのような学務（人事委員会、出題採点、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、展示会など）に携わりましたか。	人事委員会 出張講義 オープンキャンパス
	学務のうち出張講義・高校での説明会を何回しましたか。	出張講義 1 回 分野別説明会 0 回
	どのような学科独自委員、メンバーに携わりましたか。	特になし

自己点検総合評価 S：4つの分野において、十分に達成し、さらに特に秀でた成果をあげた。 A：4つの分野において、十分に達成した。 B：2～3の分野において、十分に達成したが、1～2の分野において、改善が必要と思われる。 C：ほとんどの分野において、改善が必要と思われる。	A
--	---

1年間を振り返り、教育、研究、社会連携、学務など多面的な視点から、大阪産業大学の教員としての活動を簡潔に取りまとめて評価するとともに、次年度の目標を記述してください。
評価 （教育）プレ卒研、卒業研究をはじめ、環境資格対策 1&2 や水環境工学も適切に行い、水環境工学と環境資格対策 2 は授業改善アンケートを実施し、問題はなかった。 （研究）今年度は、8 年ぶりの資格対策の著書「ゼロから学んで一発合格！公害防止管理者試験水質関係テキスト&問題集」を 12 月に出版することができた。また、オーストラリアの企業と共同研究契約を結び、「ボルタンメトリー法を用いた土壤中重金属定量のためのフィールド抽出技術の研究」を実施している。 （社会連携）事務局として運営している「寝屋川・恩智川流域環境フォーラム」で、2018 年度から 2023 年度まで実施した活動「「あるく、たべる、まなぶ。」流域つながるプロジェクト」が公益財団法人河川財団から優秀成果表彰を受賞した。

（学務）今年度は、環境理工学科主任を続けながら、6月から建築・環境デザイン学部長に就任し、建築・環境デザイン学部運営に携わった。

目標

（教育）新学部として新しい科目「入門ゼミナール」を取りまとめ役として担当しており、そのほかにも「暮らしと環境のデザイン」や「建築・環境デザイン基礎演習3」も担当することから、シラバスに沿って適切に実施していく。また、環境理工学科の「水環境工学」、「プレ卒研」および「卒業研究」も引き続き適切に実施する。

（研究）共同研究を引き続き適切に実施するとともに、卒業研究生や院生とともに、オゾン酸化や吸着の研究を継続する。

（社会連携）「寝屋川恩智川流域環境フォーラム」の活動を継続する。

（学務）環境理工学科主任および建築・環境デザイン学部長として、適切に運営する。

＊ただし、4月1日～3月31日までの1年間を対象とする。